

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#11 動的メモリ割当て 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次 龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 9</p>	<p>manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファイル名は指定の通りにすること</li> <li>■ ファイル形式は指定の通りにすること</li> <li>■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく)</li> </ul> <p>提出ファイル不足 (特に「説明と考察」): その回は 0 点とする場合あり</p> <p>2 / 9</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一文字づつ手打ちで入力: 体を動かして頭の中に叩き込む</li> <li>■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの)</li> <li>■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど)</li> </ul> <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など)</li> <li>■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと.</li> <li>■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像)</li> </ul> <p>説明と考察: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファイル形式: テキストファイル (.txt)</li> <li>■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと.</li> <li>■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明</li> <li>■ (不可: Word や PDF など)</li> <li>■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない)</li> </ul> <p>3 / 9</p>
	実習 A	
<p>実習</p> <p>4 / 9</p>	<p>今回の講義スライドの avr.c (Sum and Average) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>ただしファイル名は j11a.c として下さい (提出用)</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ j11a.c (C 言語ソースコード)</li> <li>■ j11a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)</li> <li>■ j11a.txt (説明と考察 300 文字以上),</li> </ul> <p>5 / 9</p>	<p>課題</p> <p>6 / 9</p>

課題

(教科書にはありません)

2次元平面上の  $n$  点の位置が (直交座標系で) 与えられる.  
2点間の距離の最大値を求め表示せよ.

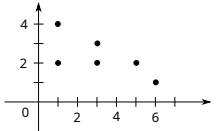
- 点の数  $n$  はキーボードより入力
- $n$  個の点の座標値は順次キーボードより入力
- 2点間の距離が最大となる2点の座標を, 距離とともに表示
- 座標値は実数値
- 座標値を記憶する配列は動的に割り当て (malloc 関数を使用)

7 / 9

課題 (説明のつづき)

表示は同等であれば別形式でも良い

```
$ ./k11a
データ数 n : 6
点0の座標 x y : 1 2
点1の座標 x y : 1 4
点2の座標 x y : 3 2
点3の座標 x y : 3 3
点4の座標 x y : 5 2
点5の座標 x y : 6 1
2点間の最大距離=5.830952
(1.000000,4.000000) <-> (6.000000,1.000000)
```



提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- k11a.c (C 言語ソースコード)
- k11a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- k11a.txt (説明と考察 400 文字以上),

8 / 9

おわり

9 / 9